

## 企画【ヘルスコミュニケーションを学べる大学・研究機関紹介】

<b>帝京大学大学院 公衆衛生学研究科</b> 所在地 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1	
交通アクセス	JR 埼京線「十条駅」より徒歩約 10 分 都営三田線「板橋本町駅」より徒歩約 12 分 JR 埼京線「板橋駅」・京浜東北線「王子駅」より「帝京大学病院」行きバスあり
ウェブサイト SNS など	<a href="http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~tsp/"><u>http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~tsp/</u></a> (オリジナルサイト) <a href="http://www.facebook.com/teikyoSPH/"><u>http://www.facebook.com/teikyoSPH/</u></a> <a href="https://www.twitter.com/teikyo_sph"><u>https://www.twitter.com/teikyo_sph</u></a> <a href="https://www.instagram.com/teikyosph/"><u>https://www.instagram.com/teikyosph/</u></a>
設置課程と取得可能な学位・資格	公衆衛生学修士 (専門職) 博士 (公衆衛生学)
備考	入試概要は大学本体のホームページ ( <a href="https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/graduate/sph"><u>https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/graduate/sph</u></a> ) に掲載
問い合わせ先	担当部署 板橋キャンパス事務部 担当者 教務課大学院担当 (公衆衛生学研究科) E-mail: <a href="mailto:tspgakui@teikyo-u.ac.jp"><u>tspgakui@teikyo-u.ac.jp</u></a> TEL 03-3964-3294(直通)



研究科の雰囲気を伝える紹介動画 (2022 年 10 月 7 日公開)

[https://www.youtube.com/watch?v=Pm\\_6ilcZLg0](https://www.youtube.com/watch?v=Pm_6ilcZLg0)



2022 年度のハーバード特別講義 (社会行動科学分野)

### 1. ヘルスコミュニケーション教育・研究活動とその特徴

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 (以下、帝京 SPH) は、わが国初の独立専攻の公衆衛生大学院として 2011 年に設立された専門職大学院です。高度な専門的実務能力を有する職業人育成を目的とした実践教育を行う専門職学位課程 Master of Public Health (MPH) と博士後期課程 Doctor of Public Health (DrPH) があります。

ヘルスコミュニケーションに関連する授業としては、MPH の選択科目「ヘルスコミュニケーション学」、MPH・DrPH の必修科目「健康行動科学概論/特論」の他、「健康医療情報学」「健康教育学」「リーダーシップ・マネジメント特論」などがあります。公衆衛生専門職として、効果的なヘルスコミュニケーションを実践できるようになるための基礎的な理論と知識を学び、様々な公衆衛生学問題に対して解決策を提示し、問題解決に向けた実践ができる人材の養成を目指しています。

### 2. 近年の実績 (論文・実践活動等)、進行中のプロジェクト等

【学生の課題研究・学位論文等に関連した主な論文】※下線が帝京 SPH 教員、二重下線が学生 (発表時)

Ito Y, Ishikawa H, Suzuki A, Kato M. The relationship between evaluation of shared decision-making by pet owners and veterinarians and satisfaction with veterinary consultations. BMC Veterinary Research. 2022; 18:296.

Sakamoto M, Ishizuka R, Ozawa C, Fukuda Y. Health information and COVID-19 vaccination: beliefs and attitudes among Japanese university students. PLoS One. 2022;17(11): e0277435.

小澤千枝, 石川ひろの, 加藤美生, 福田吉治. 「健康無関心層」の把握に向けた健康関心度尺度の開発. 日本健康教育学会誌 2021; 29(3): 266-277.

### 3. 独自の取り組み

帝京 SPH は、ハーバード大学等との連携のもと、公衆衛生の国際基準で必須とされる5分野(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健政策・医療管理学、産業環境保健学)を基本としたカリキュラムに基づき、コンピテンシー基盤型教育を行っています。また、開学以来、「ハーバード特別講義」として、ハーバード大学をはじめ、世界的に活躍する教授陣を招いた集中講義を毎年1月に開催し、帝京 SPH の学生や教職員だけでなく、学外やアジアの学術提携校にも広く受講の機会を提供しています。

### 4. 入試概要

入学者の選抜は、書類審査(志望理由書等)、口述試験、英語能力の総合判定です。ローリング・アドミッション方式で、随時出願を受け付けていますが、定員に達した場合、募集を終了する場合があります。(※2023年4月入学者の場合) 例年、7月と12月に、入学希望者を対象に研究科説明会を実施(事前登録制)しており、出願前の個別面談も利用できます。最新情報および詳細は、大学本体のホームページ(<https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/graduate/sph>)にて公開予定です。

### 5. 在学生のバックグラウンドと卒後の進路

帝京 SPH に通う大学院生の多くは、社会人として働きながら学んでいます。医師、保健師、助産師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの保健医療従事者、法律や経済、行政、マーケティング、国際開発、環境など、さまざまな専門や経験を持つ学生が集まっています。また、育児や介護と両立しながら学ぶ学生も少なくありません。

修了生の主な進路は、国家公務員、地方公務員、臨床系(病院や診療所)、産業保健(産業医・産業保健師)、民間企業(製薬企業、化学品・医薬品企業など)、国際保健(JICA、NPO)、教育・研究(大学教員、研究員)、進学(博士課程、海外留学)など。修了後は帝京 SPH 同窓会(2013年発足)のイベントやホームページ、SNSなどを通じて、現役学生や同級生とつながる場があります。

### 6. 奨学金・助成制度

帝京 SPH の専門職学位課程(MPH)は、厚生労働省による教育訓練給付制度の適用対象で、受給要件を満たす学生には給付金が支給されます。また、研究科内では、学会発表の際の参加費・旅費の補助制度もあります。

### 7. ヘルスコミュニケーション関連の講義と担当教員の紹介

科目名	ヘルスコミュニケーション学
授業の概要	ヘルスコミュニケーションは、医療・公衆衛生のさまざまな場面において、個人や集団の健康を維持、向上させていくために必要な情報を共有し、その個人、集団、社会の健康にとって望ましい意思決定や行動を促していくための重要な方略である。本講義では、公衆衛生専門職として、効果的なヘルスコミュニケーションを実践できるようになるための基礎的な理論と知識を学ぶ。これに基づき、公衆衛生の現場におけるヘルスコミュニケーションに関する問題に気づき、分析評価する視点と方法論を習得し、それを改善するための方策を議論する。
担当教員	科目責任者：石川ひろの 担当教員：中田善規、奥原剛(東京大学)、加藤美生(国立感染症研究所)

科目名	健康行動科学概論
授業の概要	公衆衛生分野において、行動科学的な分析の視点がどのように応用され、健康や医療に関連した人間の行動や心理、対人関係やコミュニケーションに関して、どのような知見が蓄積されているかを概説する。その上で、さまざまな行動科学の概念が健康や健康関連行動の評価にどのように役立つか議論し、行動科学理論に基づいた生活習慣の変容、健康増進活動などを導くための基本知識を学習する。また、心理社会的ストレス、社会文化的環境が健康や行動に及ぼす影響について理解できるようにする。
担当教員	科目責任者：石川ひろの 担当教員：福田吉治、金森悟、中尾睦宏(国際医療福祉大学)

\*責任著者 Corresponding author : 石川ひろの (e-mail: [hirono-tky@umin.ac.jp](mailto:hirono-tky@umin.ac.jp))